

低入札価格調査結果調書

- 1 調査対象工事件名：三沢(29)格納庫等解体工事
- 2 入札日：平成30年2月7日
- 3 調査対象業者名：株式会社 大阪
- 4 調査概要

調査事項	調査結果
当該価格での入札理由	当該価格により入札した理由は、平成23年度以降東北防衛局での解体工事の施工実績がなく本解体工事を確実に受注ができるようにするため自社解体の実績を考慮し、当価格で入札をされたもの。
入札価格の適切性	<p>入札価格のうち直接工事費は、未計上は見受けられず、解体工事を自社で行い、産業廃棄物の収集運搬及び廃棄物処理を自社の企業グループで一貫して対応可能であること。また、解体建物等が高層のものではなく作業スペースも十分に確保されており、自社保有の重機により効率的に解体、分別、搬出作業が可能であり、さらに、解体は自社の労務者、産業廃棄物の収集運搬及び廃棄物処理については、企業グループ会社の労務者が行うため見積額の低減につながり価格を低く抑えられたものである。</p> <p>経費のうち調査対象者との大きな価格差が生じているものは一般管理費等であり、これは、本工事を確実に確保するため受注の希望が強く、自社解体を考慮の上、これまでの経験と実績に基づき、会社の経費は計上しつつ利益を圧縮することで削減されたものである。</p> <p>共通仮設費及び現場管理費は、自社で行った解体工事の実績から当該価格は会社として工事を実施するために必要な価格を計上したものとなっている。</p> <p>よって、入札された工事費内訳明細書において、設計図書の内容に適合した施工可能な工事であると判断した。</p>
手持ち工事の状況と技術者の適正配置	問題なし
手持ちの資材、手持ち機械の状況	該当なし（手持ち資材） 問題なし（手持ち機械）
労務者の供給見通し	自社（自社工員の直営労務のため問題なし） 協力会社（取引年数から問題なし）
過去に施工した公共工事の施工状況	問題なし
経営状況及び信用状況	経営状況、問題なし。 信用状況、問題なし。

- 5 当該工事についての適正履行の有無 有
- 6 落札の決定 平成30年3月9日 株式会社 大阪